

令和元年度 大阪府立西寝屋川高等学校 第3回学校運営協議会

日時 令和2年2月19日(水)

15:00~17:00

場所 本校 校長室

<学運運営協議会委員>

協議会委員：近藤（摂南大）、小林（八中）、松元（PTA）、田中（キャリア）、

※欠席：原田（自治会）、沖中（後援会）

事務局：清水（校長）、池田（教頭）、丸橋（事務長）、中島（首席）

※欠席：権藤（首席）

1. 校長挨拶

- ・近況報告と令和元年度を振り返って

2. 進路状況について ※山領(進路指導主事)より

- ・就職に関して、今年度も100%近い内定率を維持。今年度の特徴としては、ホテル業界（フロント、調理員）や、事務系の就職が増えたことである。
- ・就職の求人数自体は昨年度よりも増加しているのが現状である。
- ・進学に関して、大学・短大進学は微減し、専門学校進学が微増となっている。センター試験受験者数は1名で、現在も入試を受けている段階。
- ・就職の1人1社制が撤廃されると、生徒の精神的負担、学校側の業務量の増加が心配。

3. 「学校経営計画及び学校評価」について

- ・平成31年度の達成状況は、数値の目標を大きく上回ったものはなく、前年度の数値より減少した項目が少なからず見られた。
- ・令和2年度の経営計画はこれまでを踏襲し、数値目標の達成をめざす。
- ・過去3年間の達成数値を加筆し、達成状況の参考とする。

4. 「学校教育自己診断」について

- ・ 学校生活に否定的な生徒が 20%存在していることは問題である。
- ・ 4年前と比較すると、授業に関して肯定的な生徒は増加しているが、保護者、生徒ともに、授業に関して満足していない人はまだまだ多い。
- ・ 教員は、学校全体として取り組む内容の項目の数値が低い傾向にある。
- ・ ICT 機器の利用率の上昇など、授業を工夫しようとしている教員は多い。
- ・ 教員のアンケート回収率は 98%に改善された。

5. 協議項目

①進路状況に関して

- ・ 就職の採用、不採用の連絡が長期間に及ぶこともあり、1人が複数社受験できるほうがよいのではないか。
- ・ 進学に関して、指定校推薦が多く、一般入試で合格しづらい現状が課題。

②「学校経営計画及び学校評価」に関して

- ・ 特に重視する、取り組む項目がわかりづらいので、学校として特に力をいれて取り組む内容の設定をすべきでないか。
- ・ 成果のあった事柄（部活動等）をしっかりと発信、周知をすべき。
- ・ 図書室の利用状況に関して、とある公立中学校で、図書室で寝転んで本を読むようにするなど、リビングのような場所にする事例があるように、既存の価値観を超えた発想を検討してはどうか。

③「学校教育自己診断」に関して

- ・ 質問の内容、聞き方を可能な限り答えやすいように変更してはどうか。
- ・ 校長のリーダーシップについて、リーダーシップの考え方は人それぞれであるため、他の質問項目と同様に、A・Bが肯定的、C・Dが否定的と判断できないのではないか。
- ・ 保護者の記述にトイレに関する苦言が多いことから、トイレ掃除の見直し等をしてはどうか。

- ・各項目（特に否定的な回答を選択した方には）に記述ができるようにしてはどうか。
- ・可能ならアンケート結果を私学との比較をしたらよい。

6. その他

- ・交通の便的に不利で、特段、強い特色のない学校であるため、これを学ぶなら西寝屋川高校に進学といった、強みを作る必要がある。
- ・多彩なキャリアを選択できるといった強みがあるのではないか。
- ・看護系の進学指導を継続的、計画的に行えているのは強みではないか。

7. 学校長閉会挨拶

- ・1年間のお礼、来期に向け委員の継続のお願い

次回予定確認 令和2年度第1回学校運営協議会開催予定日
(5月末)

閉会

(以上)